

活動の内省と目的設定#5

名前：ヘザー・オコネル 学校名：キング小学校 グループ名：キングズ
活動日：2016年10月28日（金） 活動時間：40分

今回、レッスンは教室で行われて、トピックは妖怪でした。日本の妖怪の話を教える前に、私は子供達に「自分の生活にどんな妖怪がいるのか」と聞きました。今週のリーディングで学んだ「マルチカルチャーの教室」を実際に試すために、子供達に質問しました。私はヴァンパイアやゾンビ等の普通の妖怪を予期しましたが、子供達の答えは主に有名な映画に出ている妖怪でした。子供達は私が聞いたことがない妖怪の名前も言いました。私は「世代が違う」と分かってきました。それに、私の先入観が当てたので、「Self and Social Awareness」というアウトカムにつながると思います。

次に、私達は3つのステーションを作って、かっぱと鬼と狐についての話を教えました。1つのステーションで一人の先生が座って、子供達がステーションを回りました。私のステーションで子供達はかっぱについて学んで、かっぱの面を作りました。かっぱに関する言葉も教えました。例えば、かっぱが住んでいる所（川、池）や好きな食べ物（キュウリ）等の言葉を教えました。面を作りながら、子供達はたくさん質問をしまして、とても興味を持っていました。例えば、「かっぱに会ったらどうすればいい？」をよく聞きました。私はかっぱの弱点を教えたので、子供達は安心しました。レッスンの後で、私達はかっぱや鬼や狐についての妖怪ウォッチのエピソードを見せました。そのエピソードを見たことがある子供がいましたが、今回見る時に「なるほど」をよく言いました。とても面白かったです。

今回うまくいったことは教室の設定でした。ステーションはいいアイデアでした。ステーションで学ぶトピックが1つしかないのも、子供が早く終わって次のステーションに行っても、まだ終わっていない子供が次のステーションに行かなくてもいいです。それに、最後に妖怪ウォッチを見せるのはご褒美なので、子供達は

活動の内省と目的設定 # 5 (続き)

い子でした。問題はレッスンの始まりでした。子供達が教室に入った時に、机は設定していなかったので、子供達と一緒に机を移動しなければなりませんでした。